介護・医療サービスの基盤強化と高品質化をめざして

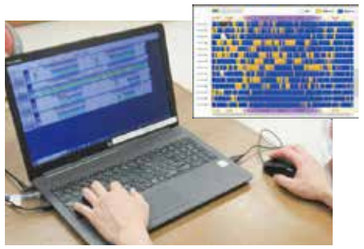
介護医療

介護と医療の現場が連携、科学的アプローチでケアの標準化を

高齢化に伴って要介護度は重度化し、認知症高齢者も増加の一途をたどっています。要介護者の尊厳ある生活の継続と自立支援のためには、介護と医療が連携し、医療・看護領域まで包括した重層的なサービスを新しい介護ケアとして打ち立てることが求められます。
健祥会グループでは「認知症」「リハビリテーション」「口腔ケア」の３分野において、現場での実践の知見を科学的に積み重ね、ケアの標準化をめざすとともに、「看取り介護」の確立にも力を注いでいます。
また、進化するICT技術をフルに活用し、利用者様にも職員にもやさしい安心の介護を実践。グループの原点である「こころ」とテクノロジーの融合により、新しい介護をめざしています。

アシストスーツ

AI歩行分析システム


見守り支援システム

けんこうの森 医療法人青嵐会 むくの木クリニック

クリニック・施設・専門学校が連携し新たな価値の創出を

高齢化の進展と要介護者の重度化、認知症の増加に伴い、高齢者ケアは医療との連携なしには成り立たなくなっています。また、同時に高齢化した地域を支えるためには、地域に寄り添うあたたかな医療が必要です。
施設と地域の双方を視野に、皆様のすこやかな毎日をお手伝いしたいとの想いを込めて、「けんこうの森」「日々のすこやかを、地域の皆様に」とキャッチフレーズを掲げるむくの木クリニック。高度医療機器を設備し、高齢者施設利用者様・地域の皆様の健康管理と疾病予防・介護予防、自立支援に努めながら、施設・専門学校とも連携し、より質の高い安心の医療をお届けしています。

リハビリテーション室

病棟（特別室）

CT検査室